

◎日の丸背負う金子選手



竹田 英司

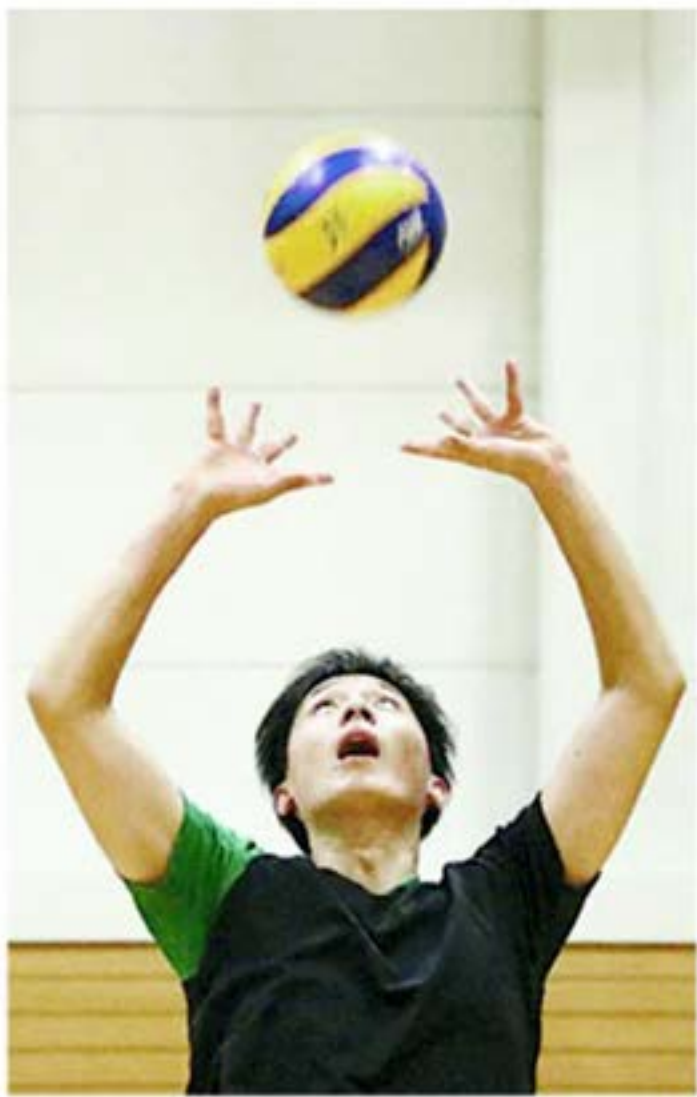
U-23日本代表として国際大会に参加した金子聖輝選手がミャンマーから帰国した。大会の写真を見せてもらうと、日の丸のユニホーム姿の金子選手はりりしく見えた。

当然のように国際大会に出場する金子選手を見ると、私がスポーツに関わる仕事を志した瞬間と、その時に初めて知った先人たちの苦勞をしのばすにはいられない。

今年のNHK大河ドラマ「いだてん」を視聴していた時だった。日本の参加を前提に日の丸が描かれたストックホルム五輪のポスターを前に、参加辞退を伝えるはずだった嘉納治五郎が「お受けします」と言った瞬間、私は激しく涙した。

「スポーツなんかくだらん！」とこの国で言われていたのは、ほんの100年前。先人たちが熱い思いで困難を乗り越え、いかに五輪へと挑んだか。日本のスポーツが胎動した瞬間であり、体育や部活にいい思い出がない私が、本当はスポーツ好きだったことに気づかされた。

ちなみに、日本に初めてバレーボールを紹介したのが、「いだてん」でも描かれた大森兵蔵だ。大森は経済学を修めるために渡米したが、「日本人の体格を向上させたい」とスポーツを学んだ。10年以上も前に大森がまいたバレーボールの種が、今シーズンも広島島の地で、JTサンダーズとしてさらに強く大きく花開くだろう。



国際大会から帰国後、練習試合に

出場した金子選手

(JTマネジャー)